



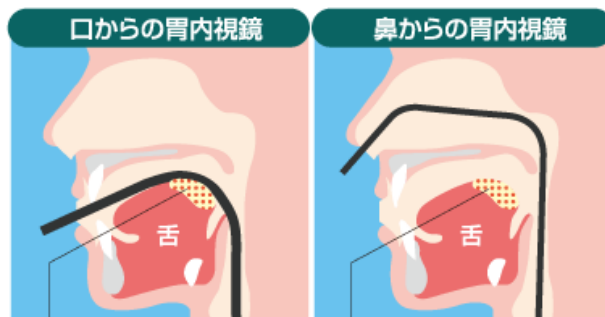
## 経鼻内視鏡のススメ

経口（口から挿入する。）内視鏡検査というと「つらい」、「苦しい」といったイメージがあると思います。しかし、最近では“経鼻内視鏡検査”という鼻から挿入する方法で内視鏡検査が行われる機会が増えてきています。経鼻内視鏡検査には、「苦痛が少ない・吐き気が起きにくい・検査中も会話ができる」などのメリットがあります。今回は、これまでの経口内視鏡検査のイメージを覆す経鼻内視鏡検査について、従来の経口内視鏡検査と比較しながら紹介をしたいと思います。

### 経鼻内視鏡とは

経鼻内視鏡検査で使用する細径内視鏡の直径は 5~6mm であり、通常使用する経口内視鏡の 9~10mm と比べると約半分の太さです。図 1 のように、経鼻内視鏡検査は内視鏡が舌のつけ根を通らず、のどにも触れないので、挿入による不快感や吐き気をほとんど感じることなく検査を受けることができます。

実際当院でも、嘔吐反射が強く経口内視鏡検査が施行できなかった方でも経鼻内視鏡検査では施行可能であったというケースを多く経験しています。また、当院が行った調査では、検査後約 9 割近くの方が「鼻から入れる内視鏡検査ならまた受けてもいい」と答えており、他施設の調査でも同様な忍容性であることが報告されております。



この部分にスコープが触れると、この部分に、スコープは触れにくい。吐き気を感じます。

図 1. 経口と経鼻の内視鏡挿入経路と嘔吐反射の関係

### 経鼻内視鏡の機能

経鼻内視鏡で以前から指摘されてきた操作性や解像度、画面の明るさなどの問題点は近年のスコープの改良により、ほとんど経口内視鏡に引けを取らないレベルになっています。また、腫瘍性病変の評価のために近年用いられている画像強調観察 (image-enhanced endoscopy : FICE、BLI、NBI など) 機能も搭載されています。そのため、もし病変があり、精密検査を必要とするときや、内視鏡治療のときのみ経口内視鏡検査を必要とするといっても過言ではありません。実際の経口内視鏡と経鼻内視鏡の内視鏡画像を図 2 に示します。コントラストなどの違いはありますが、経鼻内視鏡もスクリーニング検査には十分な解像度であることがわかります。

## 鎮静剤を使用した経口内視鏡と経鼻内視鏡検査との比較

鎮静剤を使用すると、ぼーとした状態や、ほぼ寝た状態で検査が受けられるため、経鼻内視鏡と同様に苦痛が少ないというメリットがあります。その反面、鎮静剤の効き目は個人差があり、検査後 1 時間の休憩が必要となり、その後も判断力が鈍る可能性があるため、自動車、バイク、自転車などのすべての乗り物の運転や危険な作業、重要な話し合いなどは避けるようお願いしています。

一方、経鼻内視鏡は、鎮静剤使用に比べると軽度の違和感を感じますが、鎮静剤を使用しない通常の経口内視鏡と比べるとはるかに苦痛が少なく、検査後すぐに帰宅できるという利点があります。

### 経口内視鏡と経鼻内視鏡の比較

	経 口	経 鼻
嘔吐感	強い	ほとんど気にならない
挿入時のつらさ	気になる	あまり気にならない
腹満感	気になる	あまり気にならない
組織採取	できる	できる
送気・吸引力	強い	やや弱い
画像の解像度 ※	非常に良い	良い
操作性 ※	良い	ほぼ良い

※以前より改良されてきている。

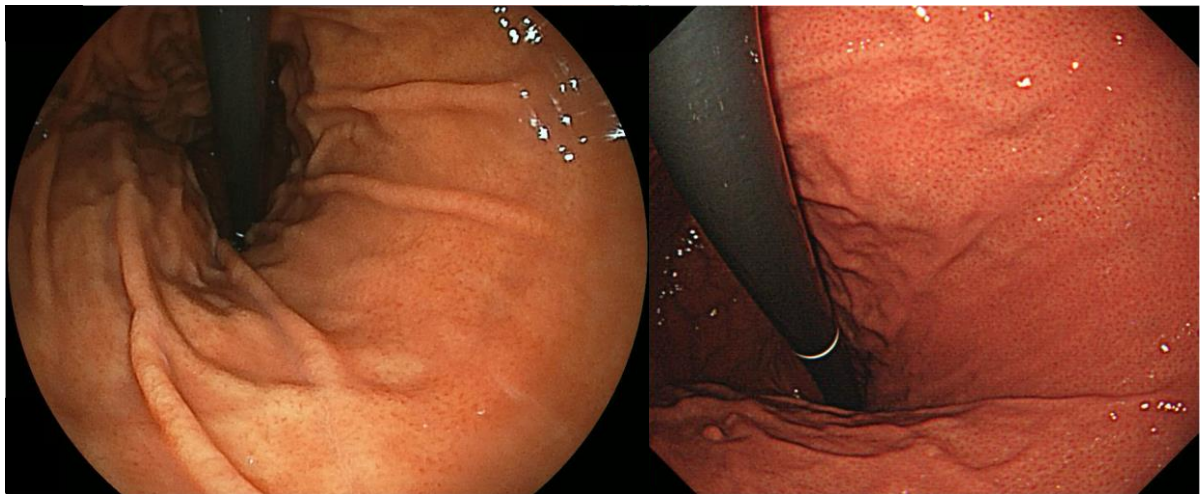


図2. 実際の内視鏡画像 左：経鼻内視鏡 右：経口内視鏡 「経鼻内視鏡画像は、経口内視鏡画像と遜色ない。」

以上、経口内視鏡検査、経鼻内視鏡検査のそれぞれの特色について解説しました。当院ではどちらの内視鏡も用意しておりますので、ご希望の内視鏡を選んでいただくことが可能です。

これまで、「苦しいから」と内視鏡検査を避けてきた方は、ぜひ一度経鼻内視鏡検査を受けていただければと思います。

検査の予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803/E-mail:mail@soiken.or.jp